

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、和合圏域） 第3回会議 議事録

開催日時	令和6年1月29日（月）9時30分から11時00分まで
参加者	委員：13人 事業所：7人 事務局：10人
場 所	和合せいれいの里 研修センター
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 住吉・和合地区生活支援体制づくり協議体会長</p> <p>3 協議内容</p> <p>① 前回までの振り返り</p> <p>生活支援コーディネーターより、これまで協議体で話し合ってきた内容について共有。各地区の方向性については下記の通り。</p> <p>【住吉・和合地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 歩行器の貸し出し事業を具体的に進めてみる * 外出の妨げになる 買い物道中の危険度を確認するような取り組みができれば <p>【富塚地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 集会所への移動スーパー導入を検討 <p>住吉・和合地区では、歩行器の貸付事業を検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 歩行器の貸出についてどのくらいニーズがあるのか * 貸出用の歩行器の保管場所、貸出業務の負担 * 歩行器を協働センターなどに置いて、色んな人に知ってもらう <p>取り組みをしてはどうか？</p> <p>といった意見があがり、検討の結果まずは歩行器を知ってもらう取り組みとして、“高齢者の外出応援のための歩行器体験会”を実施することとなった。</p> <p>【実施目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協働センターまつりに訪れた人（地域に住む人たち）に歩行器を直接目で見て体験してもらうことで、高齢者の外出手段のひとつとして理解、認識してもらう ・ 訪れた人に歩行器の必要性や外出に関する困りごとなどの聞き取りを行う <p>② 移動スーパーの導入について</p> <p>前回のグループワークで、集会所への移動スーパー導入について意見があがり、富塚町内の集会所で実施検討することとなった。</p>

	<p>移動スーパーを呼ぶまでの流れとしては、下記の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自治会長への許可取り 2 移動スーパー選定、検討 3 集会所を使用しているサロン参加者への聞き取り（買い物ニーズ把握） 4 移動スーパーと自治会長と話し合いを行い日程決め 5 自治会回覧にて周知 <p>移動スーパーの実施を通して、普段なかなか会うことができない近隣住民と会うことができること、道で出会ってもあいさつだけだったのが、移動スーパーでの買い物を通して立ち止まって話ができるという、移動販売が地域の高齢者の「居場所」のひとつとなり得るという発見があった。また、高齢者の孤立防止や見守りにつながるのではという気づきも生まれた。</p> <p>③ グループワーク</p> <p>2 地区に分かれてそれぞれのテーマに沿ってグループワークを行った。</p> <p>【住吉・和合地区】</p> <p>高齢者の外出の機会を広げるためにできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での歩行器貸出について ・イベントの際の聞き取り内容について <p>【富塚地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の展開について（移動スーパー、居場所づくり） <p>4 連絡事項</p> <p>5 閉会</p>
<p>今後の見通し等</p>	<p>今回の協議体会議では、富塚地区での移動スーパー導入についての報告が主であったが、移動スーパーが高齢者の買い物支援だけでなく、高齢者の居場所づくりや孤立防止の側面もあることの気づきがあった。今後はより買い物不便エリアへの移動スーパー導入や移動スーパーで椅子を置くなどゆっくり座って話せる場になるような工夫を検討していきたい。また、住吉・和合地区での歩行器体験会の実施に向け、委員の意見を反映しながら体験会の実施、聞き取りを行っていきたい。</p>